

平成28年中に発生した国際海上コンテナの横転事故等詳細資料1-2
(平成29年1月31日現在)

No	コンテナ種類	積載物品	死亡人数	重傷人数	最大積載量 (kg)	当時積載量 (kg)	フィート数	高さ (背高、普通)	事故原因	事故種類	事故概要
1	輸入	牧草	0	0	24000	20000	40	4.1m	速度超過	転落	北海道を走行中、右カーブを減速しないまま進入し、曲がりきれずに傾向しながら路外に逸脱した。その際、運転者は車内にて身体をぶつけ救急車にて病院に搬送された(軽傷)。
2	輸出	古紙(雑誌)	0	0	30480	30220	40	9.6	速度超過	転覆	秋田県を走行中、交差点を右折した際、左側(助手席側)に横転した。 この事故によるケガ人はなし。
3	輸出	電子製品	0	0	23100	23000	40	普通	速度超過	転覆	茨城県を走行中、緩い下り坂において、制限速度50km/hのところ、70km/hで走行し、カーブを曲がりきれず横転した。当該事故により運転者が両足打撲の軽傷を負うとともに、ガードレール、電柱、民家の庭木、ビニールハウス等が破損した。
4	輸入	機械部品	0	0	30480	27800	40	背高	速度超過	転覆	東京都を走行中、右カーブに進入したところ、左側に傾き横転した。この事故によるケガ人はなし。なお、事故原因はカーブ進入時の速度超過(減速不足)と思われる。
5	輸入	乗用自動車用のアルミホイール	0	0	24000	16500	40	8.6	原因は不明であるが、考えられる事はカーブでシャーシがひねりツイストロックの隙間が拡大し、一時的に抑えが不能になったと考えられる。	転覆	愛知県を走行中、一時停止の道路を停止後発車し、すぐにS字カーブがあり、緩い下り坂で最後の右カーブをゆっくり曲がった時に牽引しているコンテナがシャーシごと左側に横転した。 この事故によるケガ人はなし。
6	輸出	古紙	0	0	30480	22000	40	8.6	減速不十分でのハンドル操作	転覆	兵庫県を走行中、交差点を左折しようとした際、右側の車線において別のトラックが左折していたので小回りで曲がろうとハンドルを切りすぎたため、安定性を失いハンドルを切り直したところ右側に横転した。 事故原因は交差点進入時の減速が不十分であったこと及び急なハンドル操作によるものと思われる。 この事故によりトレーラの運転者は全身を打って病院に搬送されたが、命に別状はなく軽傷。
7	輸入	カセットコンロ用ボンベ(ボタンガスカートリッジ)	0	0	30480	22273	40	9.6	減速不十分	転覆	大阪府を走行中、カーブにおいて横転した。 現場は、高速の合流付近で、ほぼ直角に曲がるカーブになっている。 なお、事故原因はカーブ進入時の減速不十分と思われる。 この事故により、当該トレーラの運転者が軽傷。
8	輸入	シリコンインゴット(太陽光発電パネル用材料)	0	0	20320	16800	20	8.6	速度超過	転覆	高知県を走行中、下り左カーブを十分な減速をしないまま曲がり始めたところ、コンテナが右側に傾き始め、コンテナに引っ張られるようにトラクタヘッドも右側に横転して数メートル滑走して止まった。 なお、事故原因はカーブ進入時及び下り坂での減速不足と思われる。 この事故により運転者が軽傷。